

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(6)番 福山市立 手城小 学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	やりぬく力	思いやり
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自分なりの発想を生かして課題を設定し、見通しをもって解決する。	伝え合いを通して、自分や友だちの考えをよりよいものにする。	より高い目標を立て、困難があってもくじけず、努力を続けてやり抜く。	だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

2 授業の現状

・児童と共に課題を設定する授業スタイルは定着してきた。
 ・道徳を中心に、対話を中心とした授業スタイルが定着してきたが、思考を深める効果的な対話活動への転換が今後の課題である。

転換

3 めざす授業の姿

自らの学びを自覚することができる授業
 ～「分かった」「できた」の実感から「もっとやりたい」へ～
 話型にこだわらないつづきや話し合いを大切に授業展開によって、児童の主体的な学びを引き出す

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ○児童の学習意欲を高めるため、教科横断的な単元学習を行う。 ・生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な単元学習を学期に1回以上行う。 ○児童にとって、つづきや話し合いの場を設定をする。 ・この学習は楽しいと感じ、進んで参加できたという児童90%以上 ・「ひく・まつ・まかせ」授業を全授業の60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な単元学習を各学年1回以上行った。 ・それにより、児童の意欲を高めたり、さらに学習を深めたりすることができた。 ○児童が主体的に学べるような授業改善を行った。 ・この学習は楽しいと感じた児童(1年100% 2年90% 3年96% 4年98% 5年96% 6年88%(児童アンケートを実施)) ・「ひく・まつ・まかせ」授業の実施(1年68% 2年62% 3年80% 4年56% 5年71% 6年75%特別支援学級69%(児童アンケートを実施)) 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して教科横断的な単元学習を行う。 ・生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な学習を行うことで学習が深まったと答える児童85%以上。 ○主体的な学びを意識した授業改善を行う。 ・「ひく・まつ・まかせ」授業を実施することで、主体的に学習に取り組むことができたという児童80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な単元学習を各学年1回以上行ったことにより、学習が深まったと感じた児童は88%であった。 ○「ひく・まつ・まかせ」授業を実施することで、主体的に学習に取り組むことができたという児童は78%であった。 ・児童同士のつづきや意欲的に学習に参加する児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続して教科横断的な単元学習を行う。 ・生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な学習を行うことで学習が深まったと答える児童90%以上。 ○主体的な学びを意識した授業改善を行う。 ・「ひく・まつ・まかせ」授業を実施することで、主体的に学習に取り組むことができたという児童80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対話を中心とした授業展開を意識したり、児童主体の学びの姿のある授業を互いに参観し合ったりすることで、職員間でも学び合い、効果的な実践を取り入れてきた。 ○「学び合い」授業の実践を重ね、交流することで、「学習が面白い」「わかりやすい」と感じる児童を増やしていく。

5 取組の結果等

数値は2019年(R元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (肯定的評価)

国語	68(+2)	自分にはよいところがある	86.3
算数	67(-1)	先生はよいところを認めてくれる	81.4
		将来の夢や目標を持っている	91.1
		人の役に立つ人間になりたい	98.0

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	79.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	74.2
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	79.8
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	70.8

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (3)月末現在

暴力行為	0	不登校	0.007
------	---	-----	-------

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 25/48	取組: セツト運動の継続, 50m走用のライン常設(一時期) 結果: 上体起こし→8/12(達成) 50m走→1/12(未達成) ボール投げ→4/12(未達成)	○男子・女子共に 「50m 走」「立ち幅跳び」において、県平均値より低い学年が多い。	○セツト運動を一部修正して継続する。(足を速く動かす駆け足を追加) ○ロング休憩などで、外遊びの機会を増やし、基礎体力の向上を図る。
(女子) 25/48			
県平均との比較	目標値	「20m シャトルラン」「50m 走」で、各項目の8/12以上を平均値または全国平均以上にする。	

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	100	0
仕事に充実感がある	100	0

児童生徒アンケート(%) (7)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	91	9
自分の考えは、認められている	84	16